

プロフィール

稲畑産業株式会社は、情報電子事業と合成樹脂事業を柱とし、化学品、生活産業の4つの事業分野を手がける商社。世界17カ国約60拠点において事業を展開している。高度な専門知識を生かし、企画提案、ロジスティックス、製造・加工機能などを駆使して、グローバルに対応できる商社として、多様な顧客ニーズに応えている。

アジアを中心に製造加工拠点をもち、顧客と密接にかかわることで、新商品の開発情報やマーケットのトレンドを早く掴むことが可能となり、商社ビジネス(trading)の拡大につなげる戦略を取っている。

株式情報 (2021年8月10日)

株価	¥1,705-
発行済み株式数	63,499,227-
時価総額(百万円)	¥108,266-

投資ハイライト

21/3期は全利益で過去最高を更新

新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの、年度後半の自動車分野などのビジネスの急回復や販売費及び一般管理費の減少もあり、全利益で過去最高を更新。経常利益・当期純利益は、中期経営計画NC2020の目標値を達成した。ネットD/Eレシオは0.06で、財務の健全性は一層高まっている。合成樹脂事業、化学品事業は新型コロナウイルス感染症の影響により減収となったが、情報電子事業はFPD関連の販売が中国市場で伸長した。

新中期経営計画「New Challenge 2023」(NC2023)

新エネルギー分野や環境負荷低減商材の拡充を図る

3カ年の中期経営計画 NC2023を今期(22/3期)からスタート。将来の成長が見込める環境負荷低減商材の拡充を図るとともに、新エネルギー分野、5G関連や車載・モビリティ関連ビジネスへの取り組みを多面的に展開、収益レベルの一段の向上に努める。

・食品分野・農業分野では、様々な投資を含め、川上川下への展開を強化し、確実な収益化につなげる。

・財務面については、政策保有株式のさらなる見直しを行い、3年間で50%の削減を行う。売却により得られた資金は、①成長に向けた投資 ②株主還元の充実 ③財務基盤の一層の強化にバランスよく配分する。

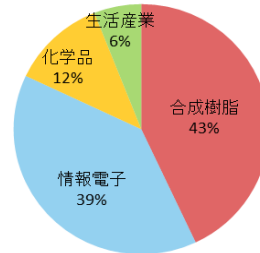
・強固な財務基盤をもとに、商社ビジネスの拡大に向けて、投資を積極化する。

累進配当の導入

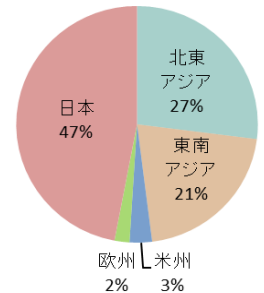
・株主還元は新たに累進配当を導入。NC2023の期間中、1株当たりの配当額については前年度実績を下限とし、減配は行わず、継続的に増加していく。22/3期は前期の1株当たり63円から、70円に増配する予定である。

2021年3月期

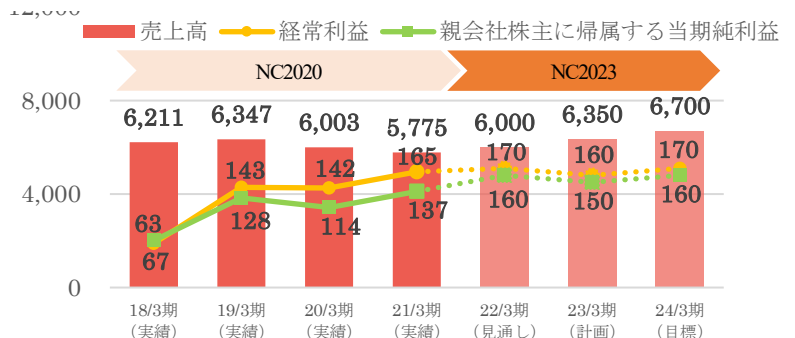
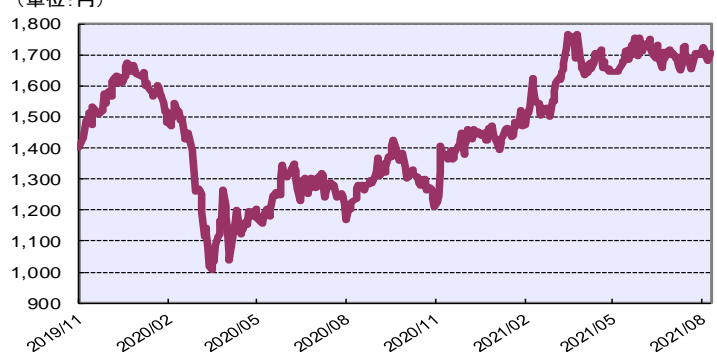
事業別売上高



地域別売上高



株価推移 (2019年11月1日—2021年8月10日)



※22/3 期期初から、「収益認識に関する会計基準」等を適用。
24/3 期同会計基準適用前ベースの売上高目標値:7,000 億円

コーポレート・ガバナンスの更なる強化

2015年より、指名・報酬委員会(任意)を設置。21/3期の取締役会評価は第三者評価を実施し、評価結果と今後の対応を開示。

<https://www.inabata.co.jp/themes/inabata/investor/library/governance/file/evaluation202104.jp.pdf>